

用途ラベル：反応ゼロの状態

「虚空」へ向かう言葉

現状の確認

商品は作った / 発信も続けている
反応がない / DMも相談も来ない



投稿が読まれている感覚がない / 時間だけ過ぎていく

積み上げているのに、誰にも見つからない現実

「誰か」へ向けた発信は、 「誰にも」届かない。

- 届けたい相手が曖昧
- 誰にでも当てはまる「ぼんやりした言葉」
- 読者が「自分事」にできない

停滞の核心

発信が「風景」の一部になっている

対象が広すぎるため、誰の心にもフックがかからない

「優しさ」が価値を消す瞬間

ズレた表現

副業したい人へ
変わりたい人へ
自分らしく生きたい人へ

結果の喪失

具体性がない
誰にでも当てはまる
誰にも選ばれない

最大公約数を狙うほど、選ばれる理由は消滅する

「一人の人間」を彫り出す三要素

今、どんな状況か？
今、どんな感情か？
本人の口から出る言葉は？

「これ、私だ」と感じさせる具体像の設計

「自分事」としての読書体験

ぼんやりした閲覧 → **自分事としての精読**

反応の不在 → **コメント・DMの発生**

一方的な発信 → **相談の入口の誕生**

静止した時間 → **売れる導線の稼働**

抽象を捨て、一人の声を拾う

- 困っている具体的な「場面」を書き出す
- その瞬間の「感情」を記録する
- 本人が実際に言いそうな「言葉」を拾う
- **三要素を一文につなぐ**
- 届けたい「一人」を明確に決める
- その人への手紙として書く

発信の軸を正す「点検カード」

発信前の読者点検 / ターゲット確認

言葉のズレ修正 / 誰向け設計図 / 見直し用

反応が止まった時に戻る、設計の起点

用途ラベル：次の進め方

一人へ届け、全員へ広げる

届けたい一人を書き出す

状況・感情・言葉を一致させる
プロフィールに反映し、発信を書く

止まったら再確認。対象が合えば、一歩は軽い。